

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和6年11月1日

No. 20



3年生 算数授業研究「数の表し方やしくみを調べよう」

10月30日（水）2限目、3年B組（担任 石井）で、今年度4回目となる算数の研究授業を行いました。

本単元では、初めて「小数」が出てきます。整数の仕組みを基にして、小数第一位までの小数の表し方や仕組み、加減法の計算の仕方を学びます。この時間は、「(280の仕組みや数の構成を基にして) 2.8はどのような数なのか、いろいろな見方や表し方を考え、説明する」ことがめあてです。

前時では、「280は200と80をあわせた数」「280は300より20小さい数」「280は10を28こ集めた数」「280は100を2こと、10を8こあわせた数」など、数直線を使って様々な見方を考えました。この考え方を2.8という小数に当てはめて考えることがポイントです。考え方は同じでも、子どもたちにとって、小数の仕組みを整数の仕組みと統合して考えることは難しいです。教師が予め用意したヒントカードや数直線を見ながら考えたり、友達と相談したりしながら、自分の考えを整理していきました。



放課後には、市教委より来校いただきました指導主事を交え、授業の事後検討会をもち、子どもの様子を振り返りながら、授業改善に向けて意見交流を行いました。

◆11月 保健目標

「姿勢に気を付けよう」

保健室前掲示板に「姿勢に気を付けよう」というテーマで、人間の骨の役割や姿勢チェック等を啓発する掲示物が貼られています。

近年、子どもの姿勢の乱れ、姿勢保持の弱さが問題にされています。正しい姿勢は健康な身体を保ち、集中力・持続力、脳の働きにとって、メリットが期待されます。この機会に、自分の日頃の姿勢を見直してみましょう。



大谷翔平選手の身長

地震・津波防災訓練 及び 引き渡し訓練を行いました(10月28日)

今回の避難訓練は、大地震の後に「津波警報」が発令されたということを想定して実施しました。地震発生後、一旦全校児童が運動場に2次避難した後、訓練用の津波警報を放送で流し、第3次避難場所である「江島総合スポーツ公園」への避難を開始しました。学校から、江島スポーツ公園までに要した時間は18分23秒でした。今年度は、避難経路を1ルートにしましたが、要した時間は昨年度とほぼ同じでした。



運動場への2次避難後に、一旦人数確認をします。



江島スポーツ公園に無事、避難しました。最後に、訓練を見守っていただきました地域の方々にお礼を伝えました。



地震・津波防災訓練後、引き続き、保護者への引き渡し訓練を行いました。学校側が把握している「引き取り者」の方を確認しながら、引き渡しを行いました。

地震の規模や発生場所によって、津波の規模や到着時間も異なってきます。様々な想定外のことが想像されます。最も大切なことは、自分の命を守るために、その時々状況を判断し、行動することだということを、訓練の最後に校長から子どもたちに伝えました。

この訓練にあたり、避難経路での児童の見守りのために、愛宕地域づくり協議会、校区自治会長会、ボランティアの方々、警察の方にご協力をいただきました。感謝申し上げます。また、保護者の皆様には、お忙しい中、引き渡し訓練にご協力いただき、ありがとうございました。

◆運動会練習がスタートしました(10月31日～)



11月16日の運動会に向け、練習がスタートしました。どの学年部も「表現(ダンス・組体操)」の練習に力が入っています。低・中学年は、テンポに合わせて楽しそうに体を動かし、高学年は、一つ一つの技を確かめながら、仲間と力を合わせ取り組んでいる様子が見られます。今年の運動会のスローガンは、「いどむ心 どんなときでも あきらめない」。運動会を通して、仲間と力を合わせて挑戦する中で、互いを思いやる気持ち、粘り強く取り組む姿勢が身につく、心身共に逞しく成長してくれることを期待しています。